

山梨県立 考古博物館だより NO. 75

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

小・中学生の考古学研究 第10回 わたしたちの研究室

県内の学校に在籍する小・中学生の考古学研究を募集・表彰し、応募作品のすべてを展示公開する「わたしたちの研究室」も今回で10回目となりました。

平成24年度は、個人研究部門小学校の部3点、中学校の部276点、団体研究部門に3点、計282点もの応募をいただき、総勢388人の児童・生徒・教職員の方々にご参加いただきました。

2月3日(日)には、入賞された児童・生徒のみなさんや先生方、ご家族のみなさん、表彰作品選定委員、博物館協議会委員の方々ほか23名におよぶ多数の臨席のもと表彰式を開催しました。表彰式の後、受賞者が研究の内容や概要を発表しました。

研究室に応募頂いた全作品282点は、2月5日(火)から3月3日(日)までの期間、当館で公開・展示を行いました。



写真：受賞者のみなさん

【個人研究部門・小学校の部】

優秀賞 (山梨県教育委員会教育長賞)

駿台甲府小学校 1年 池田珠緒 「はじめての こうごがく たいけん」
中央市立三村小学校 1年 杉野真珠 「じょうもんじんの1日」

【個人研究部門・中学校の部】

優秀賞 (山梨県教育委員会教育長賞)

富士川町立増穂中学校 1年 土橋裕太 「土の中から今に語る」

奨励賞 (山梨県立考古博物館館長賞)

甲府市立北東中学校 1年 平井晃大 「土偶に秘められたねがい」

【団体研究部門】

努力賞 (山梨県考古学協会会長賞)

富士川町立増穂小学校 5学年 「増穂の産業 これまで・いま・これから」

駿台甲府中学校 2学年 「身近な地域の遺跡・史跡調査レポート」

奨励賞 (山梨県立考古博物館館長賞)

駿台甲府中学校 1学年 「縄文土器作りに挑戦」

※ 個人研究部門・団体研究部門ともに最優秀賞は該当作品なし



写真：表彰式



写真：研究発表会

開館30周年記念特別展

マチュピチュ「発見」100年

インカ帝国展



写真上下：特別展には多くの方にご来館いただきました。

15世紀～16世紀初頭、南アメリカのペルー、ボリビア、エクアドルにかけて成立したインカ帝国は、巨大な石の建築と精密な石の加工などの技術、優れた土器や織物などの工芸品、ミイラなどの信仰、インカ道を含めたすぐれた統治システムなどが知られています。

開館30周年記念として開催した特別展「インカ帝国展～マチュピチュ「発見」100年～」では、彩色土器、ミイラ、黄金製男女小立像、頭飾りなどの黄金製品、織物など総点数160点にのぼる品々から、インカの謎に迫りました。

標高2400mの断崖にある天空の都市マチュピチュを3D映像で体感するコーナーを含め見どころ満載の本特別展は、9月18日から11月14日まで開催され、平成7年開催の『シカン発掘展』に次ぐ64,865の方が観覧されました。



多くの方が展示品の数々や3Dシアターに見入りました。



祝入館者1,300,000人突破!

インカ帝国展期間中の10月3日(水)に、1982年の開館以来の累積入館者数が130万人目を達成しました。130万人目となった甲府市在住の赤池さんご夫妻には、神津館長より大丸山古墳(甲府市)出土の三角縁獣文帯三神三獣鏡(青銅鏡)のレプリカと花束などが贈られました。



赤池さんご夫妻



小型女性人物像
(ペルー文化省ほか)



ケロ
撮影 義井豊氏



響くアンデスの調べ

記念コンサート「アンデスの調べ」

会期中の毎週日曜日には、県内在住の音楽グループ「グルーボ・モンターニャス」「Soroche」「ソル・ナシエンテ」「長谷部ピアノオカリナ教室メイプル」による南米関連音楽のコンサートを、考古博物館正面ピロティにておこないました。

平成24年度博物館学芸員実習

当館では年1回、学芸員資格取得を希望する学生の方を受け入れ、学芸員実習を行っています。今年度は5名が8月23日(木)から9月2日(日)までの10日間、様々な実習を通じて学芸員にとって必要なことは何かを学びました。

実習では、館内の展示見学や教育普及活動の見学、遺物の写真撮影、遺物梱包、講演会開催の補助、甲斐黄金村・湯之奥金山博物館(身延町)の見学、企画展展示計画発表・レポート作成などを行いました。



**山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター創立30周年記念企画展
「30年のあゆみ」**

◆会期：11月20日(火)～12月2日(日)

11月3日(土・祝)に開館・開所30周年を迎えた当館と埋蔵文化財センターが、ともに30年のあゆみを振り返りました。当館では、これまで開催してきた特別展をポスターとともにたどり、埋蔵文化財センターでは、実施してきた発掘調査のうち、著名な遺跡をとりあげて紹介しました。



**冬季企画展 甲州市内の出土品Ⅱ
「ワインの町の縄文時代」**



冬季企画展ポスター

◆会期：平成24年12月8日(土)～平成25年1月27日(日)

縄文文化が大いに栄えた甲州市の遺跡について紹介しました。甲州市はワインの町として名高いことにちなみ、縄文の果実酒作りに使われたといわれる有孔鏝付土器を展示し、また水晶鉾山近くの遺跡から見つかった水晶製品についても紹介しました。

「新年干支展 ～巳～」



へびにちなんだ出土品

◆会期：1月2日(水)～1月27日(日)

平成25年は巳年。当館では本年度の干支「巳」にちなんで考古資料約10点をエントランスホールに展示しました。展示資料はへびのモチーフが付いた縄文土器(北杜市酒香場遺跡など)を中心に、へびを表わすといわれる鋸歯文がついた三角縁神人車馬鏡(甲府市甲斐銚子塚古墳出土)などで、訪れた方々は意外と古い人とへびの関係に驚いていました。

**風土記の丘望見展
「再現! 古代のガラス玉工房」**

～蒔型・巻き取り技法・引き伸ばし技法によるガラス玉製作実験～

◆会期：2月5日(火)～3月20日(水・祝)

体験研修施設である風土記の丘研修センターで開催。研修センターで人気の体験学習メニューであるトンボ玉をはじめとする古代のガラス玉に焦点を当て、これまで実施してきた製作実験のようすや成果を紹介しました。



復元実験で製作されたトンボ玉

「第10回 私たちの研究室展示会」

◆会期：2月5日(火)～3月3日(日)

第10回「わたしたちの研究室」に寄せられた県内の小中学生の考古学や歴史研究成果282点を一堂に公開。火起こしや土偶づくりなどの体験を通じて考えた縄文人の暮らしについてや、県内外の博物館を巡り各遺跡の土器の特徴から、自分が見つけた土器を分類した成果など力作ぞろいの展示会となりました。



すばらしい研究の数々

**富士山の日関連イベント
「富士山ミニ展示」**

◆会期：2月13日(水)～2月28日(木)

昨年度より山梨県では2月23日は富士山の日に制定されました。それに協賛して開催している本展示ですが、今年度は「富士山に向かう信仰の道」にスポットを当て、特に富士河口湖町の河口地区周辺について、遺跡からわかるその地域性について考えてみました。



「川」字の刻書が入った土器(滝沢遺跡/富士河口湖町) 河口の地名を表わすものか。

「山梨の遺跡展2013」

◆会期：3月9日(土)～4月7日(日)

本年度埋蔵文化財センターや県内市町村教育委員会が行った最新発掘調査のうち、注目度の高い遺跡の写真や出土遺物を通して紹介しています。主催は県埋蔵文化財センター。



山梨の遺跡展2013ポスター

職場体験・インターンシップを受け入れています

当館では、埋蔵文化財センターの協力を得て、中学校・高等学校の職場体験・インターンシップの受け入れをしています。今年度は中学校14校、高等学校2校の合わせて33名の生徒が来館し、学芸員の仕事や文化財の保護に関する仕事について学びました。



特別講演会

事前講座「世界遺産マチュピチュの歴史保護区を訪ねて」

山梨県教育委員会学術文化財課

森原明廣氏

8月26日(日) 参加者66人

第30回特別展「インカ帝国展」の事前講座として、インカ帝国の歴史や世界遺産マチュピチュとその保護の取組み等について、ご講演いただきました。



森原氏講演会のようす

史跡文化財セミナー

加牟那塚、穴塚周辺の古墳群

日時：2月24日(日)

講師：甲府市教育委員会 平塚洋一氏

甲府盆地の北西に位置する古墳群を中心に、周辺の史跡や文化財を訪ねました。古墳の石室内部など普段見ることができないものに、みなさん興味津々でした。



加牟那塚古墳にて

記念講演会「石とインカ」 東京大学大学院総合文化研究科教授 網野徹哉氏

「DNAが語るインカ帝国への道」

国立科学博物館人類研究部 人類史研究グループ長 篠田謙一氏

10月28日(日) 参加者103人

第30回特別展「インカ帝国展」の記念講演会として、ご講演いただきました。網野氏の講演では、文献史料に残されたインカの人々の暮らしや自然観を、篠田氏の講演では、DNA分析という科学的手法により、インカ文化の担い手は征服者主体ではなく、もとの住民が主体となっていたなど、大変興味深い内容でした。



篠田氏講演会のようす



網野氏講演会のようす

冬季企画展「甲州市内の出土品Ⅱ」関連講座「昔むかしの甲州市」

甲州市教育委員会 飯島泉氏 平成25年1月12日(土)

豊かな縄文文化が華ひらいた甲州市。そこにある数々の遺跡や、その広がり、また見事な造形の縄文土器についてお話いただきました。さらに、講師が調査に携わった「県指定史跡 武田勝頼の墓」の調査成果についても詳しく解説いただきました。全5回の考古学講座すべてに出席された5名の方には修了証もお渡ししました。



飯島氏講演会のようす

考古学講座

講演会 セミナー

原始古代の技に学ぶ (高校生以上一般対象)

ものづくり

○第6回「青銅鏡作り体験」

9月1日(土)・9日(日)

古代のハイテク技術、美しい輝きを放つ青銅鏡の鑄造に挑戦しました。

○第7回「インカの赤を染める」

10月13日(土)・11月4日(日)

インカ帝国展関連企画として、中南米でサボテンに寄生する昆虫(コチニール)から得られる染料を使い絹の布を赤色に染めました。

○第8回「琥珀で勾玉作り」

12月8日(土)

樹脂が化石化してできた琥珀は、古墳時代には勾玉の材料のひとつでもありました。その琥珀を用いた勾玉作りに挑戦しました。

○第9回「二藍 ～むらさき色を染める～」

1月26日(土)・27日(日)

藍と紅花を掛け合わせて染めて作られた紫色は、二藍(ふたあい)と呼ばれています。古墳時代に渡来したと考えられている藍と紅花をじっくりと時間と手間をかけて布に染めつけました。

○第10回「縄文土器作り教室」

2月2日(土)・9日(土)・23日(土)

3日間かけて縄文土器作りの粘土練り・成形・焼成の全工程を体験しました。

○第11回「青銅鏡作り体験～海獣葡萄鏡・連弧文銘帯鏡・ミニ銅鐸～」

3月16日(土)・24日(日)

青銅製の海獣葡萄鏡・連弧文銘帯鏡と高さ約17cmのミニ銅鐸について、砂型作り・鑄込み・研磨と一日を通して体験しました。



二藍染め



土器の野焼き



縄文土器作り



琥珀で勾玉作り



青銅器作り(鑄込み)



草木染め(コチニール)

考古博物館の日イベント

●考古博物館でお宝発見!!

1月26日(土)

考古博物館の常設展示室・企画展示室はもちろんのこと、普段は入ることのできない収蔵庫を見学して本物の土器に触ったり、縄文土器の文様を粘土に付けた縄文ストラップを作ったりしました。参加者は、見学して見つけたお気に入りの土器文様を粘土に付けていました。



収蔵庫での見学の様子

●考古博物館冬まつり

2月16日(土)

考古博物館の冬の最大のイベント。「土偶ストラップ作り」や「藍染め体験」、「剥製や土器に触る体験」、どんぐり団子や猪肉が入った「特製縄文スープ」の試食など、盛りだくさんの内容で行いました。当日は多くの参加者でにぎわい、体験を通じて昔むかしの生活に思いを馳せていました。



剥製に触ろうコーナー

古代の もちつき

1月2・3日(水・木)

弥生時代に使われたものを復元した臼と杵杵で古代米(黒米・赤米)・きびなどを混ぜたおもちをつきました。



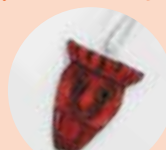
杵杵でべったん!

県民の日イベント (共催：県埋蔵文化財センター)

●考古博物館で古代の体験をしてみよう!

11月20日(火)

火おこし体験、弓矢体験、拓本体験やプラ板ストラップ作りなど、普段はなかなかできない古代の体験をしていただきました。



プラ板ストラップ

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園のイベント (共催：富士観光開発・富士グリーンテックグループ)

風土記の丘に親しんでもらうため、さまざまな催しものを行いました。

●秋のふれあい祭り

10月14日(日)

●第3回落ち葉で、焼きいも!!

12月2日(日)



落ち葉で焼きいも

イベント

くみり教室

チャレンジ博物館 (小中学生親子対象)

○第6回「縄文時代のアクセサリーをつくろう」

9月23日(日)

けつ状耳飾りを作り、様々な時代のアクセサリーについて学習しました。

○第7回「縄文土器をつくろう」

10月7日(日)

本物の縄文土器をモデルに作成し、当時の技術や知恵を学びました。

○第8回「森の木の実で染めてみよう」

10月28日(日)

どんぐりやクルミ、クチナシの実を使って、エコバッグとハンカチを染めました。

○第9回「インカの杯 ケロをつくろう」

11月11日(日)

インカ帝国展関連企画として、当時使われていた木製の杯「ケロ」をモデルに粘土で作成しました。

○第10回「干支の土鈴をつくろう」

12月2日(日)

まるい縄文時代の土鈴を作りました。また、その作りを応用して干支の「へび」と当館キャラクターの「いっちゃん」(一の沢遺跡出土の土偶/重要文化財)をモデルとした干支土鈴も作成しました。

○第11回「縄文時代のアクセサリーをつくろう」

1月13日(日)

ドーナツのような形をした縄文時代のアクセサリー「けつ状耳飾り」をペンダントに仕上げました。

○第12回「古墳時代のはにわをつくろう」

2月10日(日)

国指定史跡 甲斐桃子塚古墳(甲府市)出土の3種類の埴輪をモデルにミニはにわを作成しました。



けつ状耳飾り



インカの杯 ケロづくり



干支の土鈴作り



クチナシで染めたエコバッグ

平成24年度考古博物館事業参加者統計

開催日	内容	参加者
●原始古代の技に学ぶ(大人のものづくり教室)		
4/14	トンボ玉作り	6
5/13・19	青銅鏡作り	10
6/2・9・23	縄文土器作り	12
7/7	草木染め	11
8/4	トンボ玉作り	5
9/1・9	青銅鏡作り	7
10/13	草木染め	12
11/4	草木染め	11
12/8	勾玉作り	11
1/26・27	草木染め	14
2/2・9・23	縄文土器作り	30
3/16・24	青銅器作り	10
●チャレンジ博物館(小・中学生親子ものづくり教室)		
5/20	弥生時代の矢じりをつくろう	25
6/17	縄文時代の布を編んでみよう	9
7/1	縄文時代のかごをつくろう	16
7/15・22・8/5	縄文土器を作ろう	90
8/19	土偶をつくろう	27
9/23	縄文時代のアクセサリーをつくろう	17
10/7	縄文土器をつくろう	14
10/28	森の木の実で染めてみよう	17
11/11	インカの杯 ケロをつくろう	18
12/2	干支の土鈴をつくろう	24
1/13	縄文時代のアクセサリーをつくろう	10
2/10	古墳時代のはにわをつくろう	9
●史跡文化財セミナー		
4/22	国宝清白寺から窺八幡神社 山梨市教育委員会 三澤達也氏	36
6/17	中央市小井川遺跡と周辺の文化財 中央市教育委員会 今村直樹氏	32
8/5	大月市子の神古墳と周辺の文化財 大月市教育委員会 杉本文氏	23
10/21	甲斐鎌子塚から右左口宿 山梨県考古学研究会 山崎金夫氏	27
2/24	加牟那塚、穴塚周辺の古墳群 甲府市教育委員会 塚原洋一氏	33
●考古学講座「考古学が語る 暮らし・環境・自然災害」		
6/10	旧石器時代編 「ここまでわかった!旧石器時代の環境と暮らし」 当館学芸課長 保坂康夫	37
7・1	縄文時代編 「富士山の火山災害と縄文の人々」 富士吉田市教育委員会 篠原武氏	56
7/22	弥生時代編 「農耕文化の到来と暮らしの変化」 大月市教育委員会 稲垣自由氏	35
8/19	古墳時代編 「カキノニ(甲斐国)に生きる」 甲府市教育委員会 入江俊行氏	34
1/12	冬季企画展 関連講座 「昔かしの甲州市」 甲府市教育委員会 飯島泉氏	29

開催日	内容	参加者
●イベント		
5/3・6	風土記の丘こどもまつりイベント	18
5/4・5	風土記の丘こどもまつり	7,121
6/2	とびだせ美術館(県立美術館共催事業)	22
7/16	夏休み自由研究プロジェクト(於アイメッセ山梨)	93
7/16～8/31	夏休みフリーパスポート入館 土器の拓本カードを作ろう トンボ玉作り 勾玉作り 青銅鏡作り 古代の火起こしにチャレンジしよう	1,780 427 64 291 11 103
7/21	甲府城鯉瓦写生大会	18
8/18	夏休みオカリナコンサート	23
8/18	土笛作り	8
9/18～11/4	インカ帝国展記念コンサート 全7回	980
10/14	秋のふれあい祭り	2,923
11/18	甲府城イベント「ひらけ玉手箱」	1,600
11/20	県民の日イベント	706
12/2	落ち葉で焼きいも!!	156
1/2・3	古代のもちつき	109
2/3	第10回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会	23
8/19・12/23・2/11	縄文王国山梨イベント・講演会	406
●考古博物館の日		
4/28	古代衣装を着よう!・土器の拓本をとろう!	39
5/26	古代米を炊いてみよう!	40
6/23	狩猟体験をしよう!・石器で切ってみよう!	63
7/28	考古博物館まるごと探検隊!	52
1/26	考古博物館でお宝発見!	42
2/16	考古博物館冬まつり	246
●体験学習(教育普及活動・一般・2月末現在) ※イベントをのぞく		
古代の火起こし		6,354
勾玉づくり		2,668
●入館者数		
常設展示(3/14現在)		63,679
開館30周年記念特別展「インカ帝国展～マチュピチュ「発見」100年～」		64,865
発掘された甲府の城下町展(於甲府城稲荷橋)		3,558
春季企画展「躍動の5世紀～古墳時代中期の山梨～」		7,701
ひらけ!玉手箱～よみがえる鯉～		4,697
夏季企画展「土偶のねがい～縄文の母たちからのメッセージ～」		5,101
開館30周年記念企画展「30年のあゆみ」		1,090
冬季企画展「甲州市内の出土品Ⅱ～ワインの町の縄文時代～」		726
新年干支展～巳～		491
第10回わたしたちの研究室展示会		1,068
風土記の丘望見展(3/14現在)		214
富士山ミニ展示		666
山梨の遺跡展2013(埋蔵文化財センター主催・3/14現在)		131

●学校などの来館状況 ～144校の学校等が来館しました(2回来館した学校等もあります)～

※ 表中にないものは、本文中に記載してあります。

◎山梨県内

小学校・中学校	中北(38)	甲府市立千代田小(6)、黄川小(6)、石田小(6)、甲運小(6)、玉諸小(6)、里垣小(6)、湯田小(6)、大里小(6)、東小(6)、国母小(6)、伊勢小(6)、池田小(3)、中道南小(5.6)、舞鶴小(4)、南アルプス市立南湖小(6)、白根東小(6)、白根源小(5)、八田小(6)、若草中(2)、中央市立豊富小(6)、田富南小(6)、玉穂南小(6)、田富小(6)、三村小(6)、北杜市立高根東小(6)、長坂小(6)、白州小(5)、明野小(6)、高根中(2)、甲斐市立竜王南小(6)、竜王北小(6)、敷島北小(6)、玉穂小(6)、敷島中(2)、韭崎市立北東小(6)、昭和町立押原小(6)、常永小(6)、押原中(2)
	峡東(8)	甲府市立松里小(1.2)、大和小(6)、勝沼中(1)、山梨市立牧丘第二小(1.2.3)、八幡小(6)、牧丘第一小(3)、三富小(4.5.6)、三富小(5)
	峡南(8)	市川三郷町市立川東小(1.3.5)、大塚小(6)、上野小(6)、市川小(6)、六郷中(2)、身延町立下山小(6)、原小(6)、富士川町立増穂中(1)
	富士・東部(13)	都留市立鳥沢小(6)、谷村第二小(3.4)、上野原市立島田中(2)、秋山中(1)、大月市立猿橋中(2)、富士河口湖町立船津小(6)、河口小(6)、大嵐小(6)、西浜小(6)、大石小(6)、小立小(6)、勝山小(6)、忍野村立忍野小(6)
私立(2)	山梨学院大学附属小(4)、駿台甲府中(1)	
高等学校(3)	中央高(4)、青森山田高甲府校(1.2.3)、甲斐清和高(1)	
特別支援学校(1)	わかば支援学校(1)	
その他(2)	ブラジル人学校[2回]	

◎山梨県外

小学校・中学校	東京都(60)	荒川区立第七峽田小(5)、第九峽田小(5)、第一日暮里小(5)、尾久宮前小(6)、第二日暮里小(6)、尾久西小(5)、御徒町台東中(1)、深川第五中(1)、荒川第五中(1)、尾久八幡中(1)、荒川第一中(1)、荒川第四中(1)、荒川第九中(1)、中央区立日本橋小(6)、中央小(6)、阪本小(6)、豊海小(6)、月島第一小(6)、京橋築地小(6)、有馬小(6)、明石小(6)、泰明小(6)、小平市立花小金井小(6)、小平第七小(6)、小平第四小(6)、小平第五小(6)、小平第六小(6)、小平第九小(6)、小平第十一小(6)、小平第三小(6)、小平第十四小(6)、小平第一小(6)、小平第十二小(6)、小平第十三小(6)、学園東小(6)、鈴木小(6)、小平第五小(6)、上宿小(6)、小平第十小(6)、青梅市立吹上小(6)、青梅第六小(6)、多摩市立東寺小(6)、永山小(6)、多摩諏訪小(6)、多摩第一小(6)、東叡小(6)、南鶴小(6)、貝取小(6)、多摩第三小(6)、多摩第二小(6)、府中市立南町小(5)、府中第二小(5)、武蔵台小(5)、小金井市立東小(6)、本町小(6)、小金井第一小(6)、小金井第二小(6)、東村山市立東村山第二中(1.2.3)、三鷹市立大沢台小(6)
	埼玉県(1)	戸田市立戸田南小(6)
	静岡県(4)	富士宮市立神山小(6)、大富士小(6)、北山小(6)、山宮小(6)
	私立(2)	多摩大学日暮中(1)、武蔵野東中(1)
高等学校(1)	飛龍高校三島スクール(3)	
特別支援学校(1)	東京都立立川ろう学校(1.2)	

※(1)内は来館した学年を示す ※市区町村名以降は当館来館順に記載
※中学校の教育課程に基づく「一人歩き」や「差別行動」などの一部生徒の来館を含む

●古代衣装貸し出し状況

県外(2)	四日市市教育委員会(三重県)[2回]
県内(2)	竜王西小(甲斐市)、富士見小学童クラブ(笛吹市)

山梨県立考古博物館 平成25年度イベント予定一覧 (2013.3)

月	企画・特別展	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (高校生以上・一般)	ものづくり教室 ～チャレンジ博物館～ (小中学生親子)	講演会・セミナー	祭り・その他
4	山梨の遺跡展 3/9～4/7 4/10～5/31 4/27～6/30 新指定展 国重要文化財「酒呑場遺跡」 新指定展 県指定文化財「海道前C遺跡」	13 トンボ玉作り		28 第57回史跡文化財セミナー「信玄公の御館を訪ねる」	※考古博物館の日は月の第4(1)土曜日(Oの日) ⑳ 考古博物館の日 甲冑を着て戦国武将に変身!&焼米を食べてみよう!
5	春季企画展 「武田と城と城下町」 新指定展 県指定文化財「海道前C遺跡」	25・6/1 青銅器作り	26 大きな勾玉をつくろう		5・6 第25回風土記の丘こどもまつり ㉕ 考古博物館の日 竪穴住居でおはなし会&どんぐりデザートを作ろう!食べよう!
6	3/1～5/31 夏季企画展 プレ展示	8・15・29 縄文土器作り	16 縄文時代の布を編んでみよう 30 縄文時代のアクセサリーをつくろう	9 第1回考古学講座(奈良・平安) 16 第58回史跡文化財セミナー「北杜市の縄文のムラを訪ねる」 30 第2回考古学講座(中世)	㉒ 考古博物館の日 富士山のお札を刷ろう!&オカリナコンサート
7	7/13～9/1 夏季企画展 「日本の富士山展」 6/19～7/12	13 草木染め	14・21・8/4 縄文土器をつくろう	21 第3回考古学講座(近世)	20～8/31 夏休みフリーパスポートイベント ㉗ 考古博物館の日 考古学探検隊(夏)
8		10 トンボ玉作り	18 縄文時代のかごをつくろう	4 第59回史跡文化財セミナー「河口御師の里を訪ねる」 18 第4回考古学講座(近現代)	3 オカリナコンサート「富士山」
9	9/25～11/24	14・29 青銅器作り	8 弥生時代の矢じりをつくろう	1 特別展事前講座	1～11/30 第11回わたしたちの研究室 研究成果募集(小中学生対象)
10	第31回特別展 「いざとなったら縄文食 ～日本の食と心の源流～」	6 勾玉作り	20 特別展関連企画 縄文土器をつくろう	特別講演会①(予定) 20 第60回史跡文化財セミナー「考古博物館周辺で縄文食を探す」 特別講演会②(予定)	㉖ 考古博物館の日 縄文カフェ開店!
11		10 トンボ玉作り	17 森の草木で染めてみよう	特別講演会③(予定)	3 オカリナコンサート「古代の調べ」&土笛作り 9 縄文食のイベント 20 県民の日イベント
12	12/14～2/2 冬季企画展 「富士北麓の出土品展」 1/2～2/2	15 けつ状耳飾り作り	8 干支の土鈴をつくろう		
1	「午うま」 新年干支展	11・25・26 草木染めと原始機織り	12 土偶をつくろう	26 冬季企画展関連講座	2・3 古代のもちつき ㉕ 考古博物館の日 考古学探検隊(冬)
2	2/11～3/2 第11回 わたしたちの 研究室展示会 2/15～3/2 富士山 ミニ展示	8・15・3/1 縄文土器作り	16 はにわをつくろう		9 第11回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会
3	3/8～4/6 山梨の 2014 遺跡展 2/1～3/23	8・16 青銅器作り	9 縄文時代のアクセサリーをつくろう		① 考古博物館春まつり

※特別展の準備及び撤去作業のため、9月17日(火)～9月24日(火)まで、11月25日(月)～12月2日(月)まで臨時休館となります。また、1月14日(火)～20日(月)は館内整備のため休館となります。他の臨時休館日と臨時開館日については、考古博物館ホームページなどでご確認ください。
 ※この他、職場体験(中学・高校生・随時)受け入れや記載以外のイベント(不定期)などを行います。
 ※開催日及び内容を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧いただくかお電話でお問い合わせください。
 ※ものづくり教室や講座などのお申し込みが必要なイベントは、開催日の1ヶ月前から募集を開始します。

平成 25 年度春季企画展

武田と城と城下町
～信玄たちが駆けぬけた時代～

信虎・信玄・勝頼の武田三代が館を構えた武田氏館は、現在の武田神社の場所です。戦国時代を雄壮に駆けぬけた武田一族と家臣たちが暮らしたのは一体どんな時代だったのでしょうか。展示では国指定史跡武田氏館跡と武田城下町、新府城とその城下町や、武田氏が軍資金を得るため力を注いだ金山開発に関わる遺跡から発見された出土品を中心に、古絵図や絵画資料を加えて「風林火山」の時代へのご案内いたします。

- ◆会 期：平成 25 年 4 月 27 日 (土) ～ 6 月 30 日 (日)
- ◆場 所：考古博物館企画展示室
- ◆観覧料：無 料



武田氏館跡 (現在の武田神社 / 甲府市)

平成 25 年度考古学講座

考古学が語る
暮らし・環境・自然災害



東日本大震災後、あらゆる面で防災意識が高まっているといえます。また、歴史的に見ると巨大地震は同じ場所で繰り返し起こってきた事実がクローズアップされ、過去の歴史に学ぼうとする意識も高まってきているのではないのでしょうか。

そんなことから平成 24 年度は、考古学的側面から見た「暮らし・環境・自然災害」をテーマに、旧石器時代～古墳時代について講師の方々にお話を伺いました。それに引き続いて平成 25 年度では、奈良・平安時代～現代までについて、人々がどのように環境と向き合い、困難を乗り越えて暮らしてきたのかを知り、それに学ぶ大切さを感じる機会になればと思います。



噴砂の痕跡
(大師東丹保遺跡 / 南アルプス市)

- ◆会 場：風土記の丘研修センター 受講は無料です。

開催日		
奈良・平安時代編	6月9日(日)	・4回通して受講をご希望の方 →5月9日より受け付け開始
中世編	6月30日(日)	・聴きたい講座のみ受講したい方
近世編	7月21日(日)	→ご希望講座開催日の1ヶ月前
近代～現代編	8月18日(日)	から受け付け開始

お申し込みは 考古博物館 (055-266-3881) へ

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝祭日・振替休日を除く)
祝日の翌日(日曜日・祝日を除く)
12月29日～1月1日

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方(ただし、特別展は県外の方を除く)
- ・障害者手帳をお持ちの方
- ・毎週土曜日の小・中学生、高校生
- ・県民の日(11月20日)
- ・県内の学校の教育課程での見学(下記参照)

県内の学校の利用と観覧料免除について

- ・教育課程(県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は観覧料が免除になります。
- ・見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

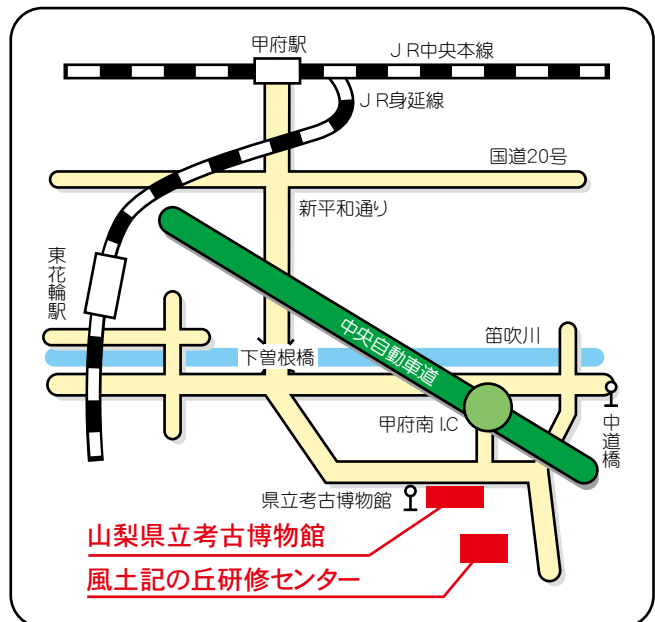
学校見学の申し込みと問い合わせ先
055(266)5286 風土記の丘研修センター

交通

- (1) 路線バスの利用
 - ・甲府駅より豊富行(中道橋経由) - 「県立考古博物館」下車
 - ・甲府駅より市立甲府病院行 - 市立甲府病院で下車乗り換え・富士急平和観光バス古閑町行 - 「風土記の丘農産物直売所」下車
- (2) 自家用車の利用
中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)
12月29日から1月3日



山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

いよいよ桜の季節となりました。平成 24 年度下半期の活動をお知らせする考古博物館だより 75 号をお届けします。今年度も展示・イベント・講演会など、盛りだくさんの内容でした。来年度もみなさまに楽しんでいただけるような企画を多数準備しておりますので、ぜひご来館ください。(恵)

発行日 平成 25 年 3 月 22 日
発行 山梨県立考古博物館
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
電話 055-266-3881
印刷 株式会社 峽南堂印刷所